



特集 玉原の自然や動植物と楽しもう

Q.「ブナ」は漢字でどう書くの？



コエンゼミは昼夜問わず羽化する。見た目はミンミンゼミに似ている。羽が透き通っていて、「ジー」という鳴き声の特徴



初めて見るタゴガエル。恐る恐る近づきながらも、見つめてくるカエルをかわいいと思うように

A. 木が無いと書いて「櫛」

玉原といえばブナを思い浮かべる人が多いのではないのでしょうか。「木偏に無い」と役に立たないような字ですが、酸性雨の中和、水を溜める、CO₂を吸収しO₂を作り出すなど自然環境に役立ち、残していくことで人間が恩恵を受けるのです。夏休み子供自然観察教室が開かれ、参加者はブナの森で涼みながら動植物と触れ合い、環境保全の大切さを考えました。



全身が褐色で所々に黒褐色が混じるタゴガエル。溪流に大きめの卵を産み、オタマジャクシは体長3~6cmで色が白い



「すごい。クマの爪痕、初めて見た」。参加者大人11人、子ども13人は、中心広場を起点とし、キャンプ場ルートから鹿俣山ルートを通りました。タゴガエルを見つけると、「触ってみるかい」とガイドの古見満雄さん。子どもたちはドキドキしながら、プヨプヨしたお腹を触りました。トンボのアキアカネも捕まえて、自分の指に捕まらせ、羽のザラザラとした感触を指で確かめました。

木の枝などに付き、キノコのように胞子をつくる生物の変形菌も観察。梅雨の後半から見られるツノホコリに、古見さんは「みんなも知っているアニメの冒頭に出てきたよ」と、自然界

玉原に生える木の樹齢は「直径×3」で計算。これは何歳だろう

